



Ridgefield時代の小学生のミュージカル「おむすびころりん」

## NY 育英創立 40 周年に寄せて 初代園長 故丹羽美代子先生の思い

思えば永いような短いような、あつという間の 40 年ではありました。1970 年代、子どもを抱えたマンハッタンの日本人たちはすでに結構いた訳ですが、「うちの子は日本語よりも英語の方が得意でねー。」と自慢する親御さんが多くいらっしゃいました。「日本語は大学へ行ってからでもやればいい。」と楽観的な保護者が多く、私達が主張する「幼児期にはまず母語である日本語をしっかりと確立させる。」「第二言語、第三言語はその上に実る。」と主張する声もむなしく響いていました。

日本語教師であった本学園創立者丹羽美代子園長はあちこちの母親の集まり、親の会等に出ては、「今、日本語の幼稚園をマンハッタンに造らなければ、幼い日本人の子ども達はせっかくのバイリンガルになる機会を失ってしまう！」と訴え続けていました。園長自身も幼い 3 才児を育てていましたので、その声には力が入っていました。共感する母親達数名がメンバーに加わりチエルシー地区の日米合同教会の一部屋で「日本語によるプレイグループ」がスタートしたのが 1979 年の暮れでした。そのころ元小学校教師であった私も 3・4 年ならばと学校づくりに参加しました。その後、近くの剣道場に間借りしていましたが、美代子先生が北隣の 27 丁目のロフトスペースを見つけてこられ引っ越すことになりました。さっそく壁のペンキ塗りや改修工事をして、仮の幼稚園ができました。最初数名の 3 才児、4 才児だったプレイグループも何とか 20 名位になってきました。当時マンハッタンでの運営に限界を見た理事会では、ハドソン川の対岸ニュージャージー州 (NJ) のフォートリー地区への移転を決しました。

## 「よい子の学園時代」

Fort Lee の南西隣の Ridgefield の公立校に移り、3 教室を借りて NJ での再スタートを切りました。マンハッタン時代には保護者にアーティストが多く、レストラン関係者が



「よい子の学園」時代第1回小学部入学式での一年生 1986年

主だったのですが、NJ の保護者には、日系のメーカー、商社や銀行の人々が多くなっていました。しかし、引っ越したばかりの 1984 年秋に一時帰国をした丹羽園長が胃がんのために手術のかいなく他界されました。やや体調が悪く元気がなかったのはわかつっていましたが、残った者にしては青天の霹靂でありました。私達数名の職員は何とかこの在園児数、40 名の弱々しい園を故丹羽園長の為にも育てていこうと保護者と共に運営を続けました。1986 年には小学部第 1 学年も開設。第 3 学年が出来た 1989 年には又もや大きな試練を受けます。リース切れによる立ち退きを市の教育委員会より要求されます。理事会を中心に校舎探しに走り回って見つけたのが当時使用していなかった現在の Englewood Cliffs の学園舎がありました。下見に来た春に裏庭の 4 本の桜の大木が満開に咲いていたのが印象的でした。自分たちのイメージにぴったりのレンガ造りで古くとも小振りなグランド付きで将来ミニ野球やミニサッカーの練習にはもってこいの場所でした。

## 田中健児先生との出会い

しかし非営利団体の私達には手が出ません。周りの有力者にも声をかけましたが手は上がりません。それではと日系新聞の全国紙に学園の苦境を載せてもらいました。「やど無しになる私立日本人学校救い主求む」的なタイトルをつけてセンセーショナルな記事がありました。園長を引き受けた自分ではありますが、責任の大きさに押しつぶされそうになっていたところに、記事を見た日本の雑誌家からの連絡が入りました。「何かお手伝いしましょうか」との問い合わせに「是非学園舎を買ってください。」との返事をしました。日本のその学校法人の会長からの救いの手が有難くて私は涙しました。学園の理事会メンバーと感涙にむせんだことを覚えています。その恩人田中先生ご夫妻と田中育英会理事の方々に心から感謝の意を伝えたいと思います。ちょうど米国への恩返しということで NY に教育基金を立ち上げられたところで、私が第 1 番目の受領者でした。

さて、今年学園は創立 40 周年を迎えます。これまで創立以来応援してくださった方々、NY 日系人会会長だった故島本源徳氏、日系証券会社米国法人会長でした寺澤芳男氏、東京芸術大学学長であられた平山郁夫先生をはじめ、近隣コミュニティーにお住いの多くの方々の「心の支え」のお陰で、非力な私達ですが、何とか重責を果たすことができています。

これからもこの Japanese Children's Society をより活用して、地域の子ども達の為、NY 育英学園をはじめ、フレンズアカデミー、りんごラーニングセンター、NJ, Manhattan, Port Washington のサタデースクール、サンデースクール、サマーキャンプ、スキーキャンプ、いろはほんご教室等を充実させていくと思っています。これからも保護者の方々、職員一同、NY・NJ の地域の方々の協力を得ながら力強い団体にしていこうと思います。

この文章を書いています 2 月に本学園の救い主、田中健児先生がお亡くなりになられました。ここに田中健児先生のご冥福をお祈り申し上げます。田中先生のご好意により約 10 年前にこの校舎を何とか購入させていただけのことになり、安心して教育活動に専念できるようになりました。非営利団体である私たちは、これからも活発な開かれた日本人学校として活動して参ります。それが、田中健児先生のご恩に報いることだと思います。

## ニューヨーク育英学園学園長

田中 健児



絵(学園長似顔絵)  
二〇一八年年度  
NJ キャンパス全日制  
小学部第五学年  
菅沼 千尋

## ～今号の目次～

- P.1 学園長よりご挨拶
- P.2 NJ キャンバス全日制部門からのお知らせ
- P.3 NJ キャンバス全日制英語科からのお知らせ
- P.4~5 NJ キャンバス各部門からのお知らせ
- P.6~7 JCS のご案内
- P.8 NJ・NY での早朝延長お預かりのお知らせ  
第 7 回アメリカサマー留学のお知らせ
- P.9 NY 育英学園主催第 4 回トリエンナーレ  
自由の女神アート作文コンクール開催のお知らせ
- P.10 NY 育英学園 2018 年度スキーカード
- P.11 シリーズ「保育教育トピックス」④  
シリーズ「NY 育英学園職員ベントレー」  
NY 育英学園ファンデレイジング報告  
シリーズ「先輩から一言」
- P.12 4 コマ漫画 (作: ヨマタキレコ)

# 生きる力を育む栽培活動

本学園全日制では、幼稚部から小学部まで「直接体験」を中心とする多くの体験活動を実施しています（\*2018年春号掲載）。幼稚部年長組から小学部までの学外での集団宿泊活動の他にも、栽培活動をカリキュラムに取り入れ、学習活動を展開しています。

## 学級園等について

グラウンド北側と裏庭には、各学年に割り振られた学級園があります。そこでは、保育や教科で使う教材としての植物や食物、生活科・総合学習で自分たちが計画した植物・食物を栽培します。

小学部では、第1学期末と第2学期初めには環境美化月間「みどりの日」として学級園や裏庭の花壇、校内植え込みなどの除草作業を全校で取り組みます。

また、屋外での栽培と並んで、すべての教室に、メダカやグッピー、金魚などが飼育され、日常的に生き物にふれる飼育環境も設定されています。

## 幼稚部における栽培活動

栽培活動は小学校の生活科や理科でも行われていますが、幼児教育・保育における栽培活動も大きな意味を持っています。その意義は、園児に戸外に関心を持たせて身近な自然の不思議さや美しさを感じる中で、子どもの好奇心や表現力などが育まれることにあります。日々成長・変化していく植物を見て感じ、実がなる喜びや感動、時にはせっかく育てた植物が虫に食べられる悲しさ、自分で責任をもって育てる、友達と協力するなど、体験や遊びを通して様々なことを感じていき、人間形成の土台になるものを培っていきます。

**【年長ひまわり組】**植えたのはクラスの名前にもなっているヒマワリです。初めてヒマワリの説明をすると子ども達は、「太陽の花（Sun Flower）」と聞いてとても驚いていました。芽が出るためには何が必要かをみんなで話し合い、種まきを行いました。土をやわらかくして、それぞれのポットに指の関節を目安に穴をあけ、慎重に種を入れて、最後は丁寧に土をかぶせました。「早く芽が出るといいな。」とのぞき込んでいた子ども達。年長ひまわり組になった喜びいっぱいの気持ちを花に込めて育てました。また、レタスとほうれん草、トマトも植えました。

子ども達は裏庭遊びの度に成長を観察するようになり、成長の様子を教えてくれるようになりました。自分達の育てる植物だけではなく周りの植物や虫にも関心を持つようになり、開花した花や実った野菜の成長と一緒に喜んでいました。

## 小学部における栽培活動

栽培活動の効果としての「自然や生き物への興味・関心を持つ」ことは『生きる力』を構成する「確かな学力」の自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、

行動し、よりよく問題を解決する資質や能力につながると考えられます。また、子どもは観察力や豊かな感性を身に付け、感性を生かした体験から総合的な思考力や実践力が養われれます。

また、活動を通して、命の大切さを実感することにより、自らの存在を実感したうえで、児童に積極性・自主性が育ち、自他の生命の尊重や他者への思いやりなどを養います。適切に行動でき、主体的に生きていくことが、『生きる力』の育成そのものであると考えられます。

## 低学年

**【1年】**土を耕すことから育成、収穫までを実際にを行う中で、子ども達の中からは様々な気づきが出来ました。



土の中にはたくさんの虫がいて、土を肥やすこと。雑草が栄養を奪ってしまうこと。雑草を防ぐマルチングがあること。学級園には鹿やモグラ、野鳥などがやってきて、作物を食べてしまうこと。そのために網を張るなどの対策が必要なこと。収穫したジャガイモは大小様々で、店に売られる物は選別されたものであるということ等々です。

**【2年】**育てたい野菜を一人一鉢で栽培し、芽が出る、花が咲く、実がなるなどの成長の記録を取り、最後にそれらを振り返った時に、野菜の成長を支えた喜びや、達成感を味わうことができました。種の観察から始まり、作物の成長観察を通して、子ども達は日々の生活の中でも小さな気付きが増えました。また、観察記録を続けることで、見たものの、観察したもの、感じたことを文章や絵で表現する力も伸びました。

**【3年】**ヒマワリを栽培しました。ヒマワリの種は学園の周りにいるリスの大好物です。学級園に直接種をまく



と、すぐにリスに掘り返されて食べられてしまします。芽が出た後も、リスや他の野生動物が子葉をかじることがあるので、日中は鉢植を日なたに置き、太陽の光を浴びさせますが、下校時間にはまた室内に移動します。子ども達は野生動物からヒマワリを守り、育っていく過程で、植物の命を大切にすることや、植物が成長するために何が必要なのかを学んでいました。夏休み明けには大人の身長よりも大きくなり、大輪の花を咲かせました。その姿を見た子ども達は、驚きとうれしさで今まで一番の盛り上がりを見せました。秋になり、次の命をつなぐために種をつける姿を観察し、植物の命のサイクルを学びました。

## 高学年

4年生から6年生の理科の学習において、ジャガイモの葉を使った実験や、季節ごとのキュウリの成長について考察する活動をしました。植物の成長と日光の関わりを検証考察したり、春と夏に行った観察を通して、キュ

## ～NJ キャンパス全日制部門～

ウリの成長と春から夏にかけての気温の変化を関係づけたりすることができました。

また、移動教室において、地域の日系スーパーで販売される日本野菜の栽培農家であるスズキファーム（デラウェア州）を見学、収穫体験をしました。

## 伝統の米作り



5年社会科で、米ができるまでの工程や良い稻を育てるための工夫を学習し、その一環

として、毎年、学園敷地内にある水田で「米作り」が行われています。4月に初まきをして苗を育て、並行して、田起し、代かきをして5月には田植えを行います。5年生児童の全員が家庭では毎日主食である米を食べます。この活動を終えるまでは、その米がどのように作られ、どのように家庭に届くのかを知る児童はいませんでした。計画的・継続的な観察や体験で、児童は興味をもって活動することができました。田植えの際に泥の冷たさを足で感じ、伸びた稻に触ったり、収穫際には穂の匂いをかいだりして、稻の成長を五感で感じる活動になりました。また、小さな水田ですが、暑い中の水の管理や草取りなど手作業の苦労を体感し、農業では機械化が進む理由に納得していました。こうした直接体験を通して、米を作る農家の苦労を知り、学習を深めています。

また、米作りの活動の中で、水の管理や猛暑や風の強い日には稻の様子を気にして倒れるのを防ぐなど、愛情を注いで大切に世話をする様子が見られました。クラスでの果たす役割の大切さや、互いに協力し、共同して活動する態度を育みます。

夏休み中には、親子で学園に来て水田の水の管理をすること、「親子で一緒に作業することができて、共有の体験ができ、いい親子関係につながりました。」と、共感的な人間関係も育まれていました。

## 食育との関連

栽培活動は、食育の観点でも大きな意義をもちます。子どもの食育における保護者、教師等の役割として、子どもが楽しく食について学ぶことが出来るような取り組みが必要です。教科書通りの食育ではなく、遊びや栽培活動を取り入れた食育は、子どもが興味を持ち、結果として「学び」へつながります。収穫した作物を全員で調理すると、自分たちの育てた野菜だけあって、苦手な子どもも進んで食べる様子が見られました。また、野菜に関わらず、どのような食べ物にも生産者の苦労があり、大切に食べなければいけないと子ども達の感想として聞くことができました。



### 【2018年度中に収穫した作物】

幼稚部:ミニトマト、レタス、ホウレンソウ、キュウリ

小学部:ジャガイモ、ミニトマト、トウモロコシ、キュウリ、米



## NY育英学園のバイリンガル教育

特別インタビュー企画 その5

現地校ソフトウェイブ編②

## 将来の夢はハリウッドスター！

全日制のバイリンガル教育で伸びやかな発想力とチャレンジ精神  
を身につけ、夢への第一歩として現地校へ

ふかせ はるき

深瀬 阳己 君

NY育英学園全日制 2014~18年度 幼・小学部 現育英サンデースクール 小学3年

年少から小学2年生まで、NY育英学園全日制で過ごした陽己君。どちらかといえば控えめだった陽己君でしたが、伸び伸びと長所を伸ばす全日制の教育方針のもと、友達と楽しい学園生活を送っていました。そんな陽己君が、2018年度夏、大好きな全日制を離れて現地校に編入することを決心しました。その心は？ 陽己君とお母様にお話を伺いました。

しばらく英語が全然分からなかった

「NY育英学園に通うことになったいきさつを教えてください。」

**母：**はじめはすぐに日本に帰る予定だったので、日本語をしっかり勉強させようと全日制を選びました。

「アフタースクール ESL クラスを年少の時から取るなど、英語教育にも熱心でしたね？」

**母：**その頃は幼稚部の毎日の英語が始まる前でしたし、アメリカにいる間に英語も身について欲しいと思いました。でも中々英語が身につかず、単にジュースが飲めて楽しいゲームもできる時間だと思っていたようです。

**陽己：**うん、全然わからなかった。アルファベットも中々覚えられなかった。

**母：**りんごラーニングセンターの土曜英語補習教室にも小1の時から毎週通いましたが、自分から積極的に答えたりするタイプではなかったので、りんごのプライベートレッスンに切り替えることにしました。

英検の勉強で英語に対する姿勢が変わった

「その後英語がみるみる上達しました。きっかけは何でしたか？」

**母：**意識がはっきり変わったのは、英検の勉強をするようになってからです。目標がないとやらないタイプなので（笑）。受けるなんだったら絶対受かりたいと思うようになったようです。

「プライベートレッスンに切り替えてから、1年生の冬に英検5級合格、とんとん拍子に1年後には準2級まで合格しました。」

**陽己：**英検の勉強は楽しいし、合格するとプレゼントも買ってもらえて嬉しい。この間はペットのカメを買ってもらった。今は2級の勉強も始めて、単語が難しいけれど、何となく勘で当たったりする。

英語がカッコいい！

「英検は級が上がるにつれ、難しいトピックも出てきますが、いろんなことに興味をもって、積極的に質問するようになりました。」

**母：**プライベートで、そうした興味を引き出していただきながら英語を学ぶことができているのがいいようです。それからハリウッド映画が大好きで、『英語がカッコいい』と思うようになったようです。

「どんな映画が好きなのですか？」

**母：**S F やアクション、ホラー、最近は現地校の友達の影響でアニメ映画も大好きで、すごくたくさん見ています。好きな映画は何回も見て、その中で自分がカッコいいと思う台詞なども覚えているようです。映画の中での歌も覚えて家で熱唱したりしています。（笑）。

「陽己君の将来の夢は？」

**陽己：**ハリウッドのスターか、映画監督。

**母：**シャーロック・ホームズやミッション・インポッシブルのトム・クルーズなど、コスチュームもたくさん持っていて、家に帰ると部屋でコスチュームに着替えて、役になりきって居間でポーズ取ったりするんです（笑）。

ハリウッドに行って映画の勉強がしたい

「2年生の秋、現地校への転校に踏み切ったきっかけは何でしたか？」

**母：**2年生の夏は、現地のサマーキャンプにも参加できるくらい英語に自信がついたのですが、まだ全日制に通い続ける予定でした。

**陽己：**でも、スターになるんだったら、英語がペラペラじゃないとなれないよと言われて、現地校に行こうと決めた。NYは映画というより、ジュリアードがあつたりと芸術の街だから、将来はハリウッドに行って映画の勉強がしたい。

**母：**いつになるかは分かりませんが、夢を実現させてあげたいとは考えています。

現地校で身についた責任感

「現地校での生活はどうですか？」

**陽己：**まだ ESL だけど、先生が言っていることは結構分かる。自分の言いたい事が時々言えないこともあるけど。

**母：**私が英語ができないので、アメリカ人の友だちのお母さんとの話やお店でも、『今こう言っているよ』って通訳してくれるんです。現地校の持ち物も自分で理解していないといけないので、ちゃんと先生の話を聞いてくるようになりました。育英の時はお便りに日本語で書いてあったので、全然自分でやらなかつたのですが（笑）。

全日制で土台ができた！

「全日制に通つてよかったと思うことは？」

**母：**皆さん現地校に行く時期をいろいろと考えられると思うのですが、うちの場合は、2年生である程度英語が分かるようになって、自分から行きたいと思う気持ちになってから行ったのはよかったです。それに、育英で友達が多いできて、心が落ち着いて土台ができた上で現地校に行っているので、早く新しい環境になじめたようです。

**陽己：**最初は友達があまりいなかったけれど、少しずつ友達ができて楽しくなってきた。仲良しの友達が何人か Could you come to my house? ってプレイデートに誘ってくれる。

「ご家庭で注意されていることは？」

**母：**日本語もしっかりと身につけていくように、本を毎日音読して聞かせています。最近は英語の本の方が読みやすいと、日本語の本を中々自分から読まないので、活字を見ながら読むようにしています。

「夢の実現を祈っています！  
ありがとうございました。」



# NJ キャンパス の 魅力

- 【共通事項①】日本国が海外へ在留する児童生徒へ配付する文部科学省検定済み同じ教科書を使用して学習を進めることができます。
- 【共通事項②】日本式学齢を採用しているので、その学齢に適した日本語力を有した児童生徒と共に学習ができます。
- 【共通事項③】文部科学省が定める指導要領に沿ったカリキュラムをNY育英学園ならではの統一カリキュラムで学ぶことができます。



## 育英サタデーNJ校 SatNJ.nyikuei@gmail.com

### 【1日の流れ】

<9:05> 幼児部、小学部、中学部が登園登校してきます。

幼児部	小学部	中学部
9:20 朝の身支度	低学年 国語2時間 算数2時間 体育1時間 生活1時間	国語専科2時間
9:30 自由遊び	中学校年 国語2時間 算数2時間 体育1時間	数学専科2時間
10:00 歌・ダンス	国語2時間 算数2時間 体育1時間	社会専科2時間
クラスの活動 (製作、折り紙 伝承遊び、ゲーム、リズム遊び、クッキング等)	理科/社会1時間	音楽: 学期に1回
11:20 昼食	国語2時間	
12:50 午後の活動 運動遊び	算数2時間	理科: 学期に2回 実験中心の授業
1:40 帰りの準備 紙芝居、言葉遊び	理科1時間 社会1時間	下校時間後の 7時間目に実施
2:20 降園	音楽: 学期に2回	
	2:40 下校	
		3:00 下校

## 高等部 2:55~6:05 国語・数学・社会(選択制)

<降園・下校~4:00> 放課後の活動

☆ベビーシッタールーム ☆サッカー ☆室内球技 ☆野球  
☆卓球 ☆ダンス ☆アート ☆書道

### 【サタデーの魅力】

#### 見て触って感じて！体験型の授業

サタデーNJ校でとても大切にしているのが、体験型の授業です。特に体育、理科、社会、生活は、学園の広々としたグラウンドや学級園、体育室を思う存分に活用して授業を行います。

日本の学校ならではの、跳び箱やマット運動をとり入れたり、学級園で種から育てた野菜たちを観察のみならず食したり、砂場を利用して水の流れの実験をしたりと、実体験での授業がとても好評ですし、とても重要です。子ども達の生きた教材となっています。



### 【ディレクターから】

## 「土曜日は、みんなで楽しむ日本語の日！」



たくさんの友達と一緒に、楽しく一日を過ごしましょう。教室の保育や授業のみならず、グラウンドを使った体育や休み時間の外遊びなどでも、日本語のシャワーを体と心にいっぱい浴びて、すくすくのびのびと日本の学校生活を満喫してください。

お問い合わせ／サタデーNJ校—ディレクター：半場 純子

## 育英サンデーNJ校 SunNJ.nyikuei@gmail.com

### 【1日の流れ】

#### 午前中

#### 午後1時

日曜日の午後に学習の質を大切に、比較的ゆったりしたペースで勉強



### 【幼児部（年中・年長）／定員各20名】

クッキング、運動、歌あそびやアートなどを取り入れた日本語による保育。NJキャンパスの遊具や砂場、グラウンドで、元気いっぱいに体を動かして、心身ともに健やかな成長を促します。

### 【小学部（1年～6年）／定員各20名】

国語・算数（毎週各2時間）、生活（1・2年生）、理科・社会（3年生以上）、音楽・体育（年3回）。

国語・算数・理科・社会は、一日授業を行うサタデースクールと同じ時間数を確保しており、学習の質を大切にしています。経験豊富な教師が子ども達一人ひとりを温かく見守り、きめ細やかな指導を心掛けています。

#### 午後5時

サンデースクール終了！！

### 体験的な季節の行事

日本語力は学習だけでなく、行事などの体験を通して定着・向上します。もちつき大会、運動会、書き初め大会、節分、ひな祭りなど、日本の四季折々の行事を経験しながら、子どもたちは日本語を楽しく学習しています。



### 充実した課外活動

サンデースクールの前(午前中)には、日本語による様々な教室が開催されています。サンデースクール在籍者以外も参加可能です。

- ・自習室プラス：宿題から家庭学習まで、個別にサポート。
- ・日曜日音楽教室：ピアノとバイオリンのプライベートレッスン。
- ・日曜寺子屋アカデミー：書道〔毛筆・硬筆〕、そろばん、理科実験、アート、料理教室を含むユニークなプログラム。
- ・日曜野球教室：春期と秋期開催。親子で参加が可能。

### 【ディレクターから】

## サツ！

## サンデースクールへ行こう!!

### 「学習の質が成功への鍵」



お問い合わせ／サンデーNJ校—ディレクター：大村 功

# NJ キャンパス の 魅力

【共通事項④】日本から取り寄せる文部科学省検定済み副教材（ドリル）を使用して、能力の伸長を図ることができます。

【共通事項⑤】日本語での「読む」、「書く」、「話す」を大切にして学習生活全体を過ごすことができます。

【共通事項⑥】学校活動や学習を通じて、日本の習慣、マナー、敬語などの「生きた学習」を培うことができます。



## 育英アフターNJ校 AfterNJ.nyikuei@gmail.com

【1日の流れ】

### 【幼児部（年少～年長）

全1クラス定員10名】

開催曜日：火曜・木曜・金曜

現地校が終了した後の平日の午後に通うことができる「幼児の教室」です。「日本語をもっと学ばせたい」「日本語での活動や学習の場を深めさせたい」というご要望をお持ちの方や、「幼児期だからこそ大切な日本語を学ばせたい」、「母国語である日本語を大切にしていきたい」とお考え方の方へぴったりのクラスです。最初はお互いを知らない園児も、音楽や工作、時には運動を通してすぐに仲良くなります。

午後3時45分

「現地校が終わって間に合うようにと、2019年春より15分遅く開始となりました。おやすみ下さい。」

午後4時

### 【小学部（1～6年）

／定員各12名】

開催曜日 火：2・5年生

木：1・4年生

金：3・6年生

「小学生の国語・算数教室」は、現地校に通うお子様を持ち、日本語での学習を続けさせたい、週末は家族でゆっくり過ごしたいと思われている方々にぴったりの平日午後の教室です。国語・算数に特化し、楽しく学びながらしっかりと学習の基礎を身につけていきます。一人ひとりの発言発表を重視した授業も大切にしています。さらに、日本の学校行事には欠かせない運動会も育英サンデースクールと合同で行っています。

午後5時45分

## アフターの 魅力

午後7時5分

### 【幼児部】

- 広々とした芝生の園庭でのびのび保育
- 日本の遊具を使ったあそび・制作活動
- 「豆まき」、「正月あそび」など日本の慣習に触れる活動

### 【小学部】

- スマートボードを利用した最先端授業
- 図書室にて日本語の書物貸し出し
- 少人数制ならではのきめ細かな指導や一人ひとりの学力に寄り添った学習内容

【ディレクターから】



## 「週末は家族団らん、 平日夕方に日本語学習をしよう！」

アフタースクール「つばめ組」、「国語・算数教室」ではゆっくり、じっくりと日本語に向き合うことができます。まずは見学にお越しください。

お問い合わせ／アフターNJ校ディレクター：加藤 義隆

## 育英ホームスクールシステム Homeschool.nyikuei@gmail.com

ご家庭の事情により学校まで通うことができないお子様や、更に学力を伸ばしたいというお子様から、日本語を第一言語としない方の日本語能力の伸長まで、経験豊かなニューヨーク育英学園の講師がご家庭を訪問し、一人ひとりが抱える問題や課題に合わせて、個別に学習方法を考え指導していきます。

## 育英サタデー・サンデースクール準拠コース

ニュージャージー地域のホームスクール準拠コースは、ニューヨーク育英学園のサタデースクールニュージャージー校およびサンデースクールの学習内容に準拠したコースです。サタデースクール、サンデースクールに入学を希望しているけれど定員が一杯でウェイティングしている、土曜日や日曜日には時間がないので平日に勉強したい、などというお子様にぴったりです。準拠校としてサタデーあるいはサンデースクールを選んで頂き、そこで使用されている教科書・副教材を使って、同様のカリキュラムで授業を進めていきます。

またスクーリングとして準拠校で行われる各種行事に参加できますので、準拠校の児童・生徒たちとも交流できます。行事は準拠校によって異なりますが、運動会、遠足、もちつき大会、書き初め大会などに参加が可能です。

この準拠コースを受講して、小学部、中学部のコースを修了した場合は、準拠校の卒業式に参加することもできます。その際は、ホームスクールシステム修了証を授与いたします。

＜対象＞ 小学1年生～高校2年生(日本式学齢)

＜内容＞ 国語・算数（数学）

＜回数＞ 週1回／年間38回（夏・冬休み中も対応可能）

＜時間＞ 1時間30分／2時間 コース



## その他のコース（幼児訪問・個別・英語・外国語としての日本語・書写）

日本語の歌や絵本などの読み聞かせを通して、幼児から日本語に触れる機会を提供する幼児訪問コース。アメリカに来たばかりのお子様への英語指導、現地校の宿題補助、英会話能力の伸長、英検対策などに対応する英語コース。また、日本語を外国语として学ぶ児童および大人の方への日本語指導。学習者の年齢に関わらず、習熟度や学習希望科目に合わせてカリキュラムを作成する個別カリキュラムコース。そして、外国では学習が困難な書写の指導も可能です。

【ディレクターから】

## 都合に合わせて、自宅で楽しく勉強！

様々な事情で、サタデースクールやサンデースクールに通えないお子様や、自宅で英語や日本語をじっくり学びたいと希望されている大人の方にぴったりなのが、育英ホームスクールシステムです。習熟度に合わせた個別指導が可能ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ／ホームスクールシステムディレクター：舛田 和美





# JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY のご案内



## New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632  
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680  
E-mail: Info.nyikuei@gmail.com

### 全日制ディスクール 幼児部／小学部

E-mail: DaySchool.nyikuei@gmail.com

#### 幼小一貫全日制教育

日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL&現地校英語

#### (幼児部) NY 育英ブリクスメソッド

毎日の英語の時間+金曜日のバイリンガルの時間（年長・年中）  
英語でのアートの時間

#### (小学部) NY 育英クロスマソッド

毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語  
1週間の1/3が英語学習  
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成  
ネイティペルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

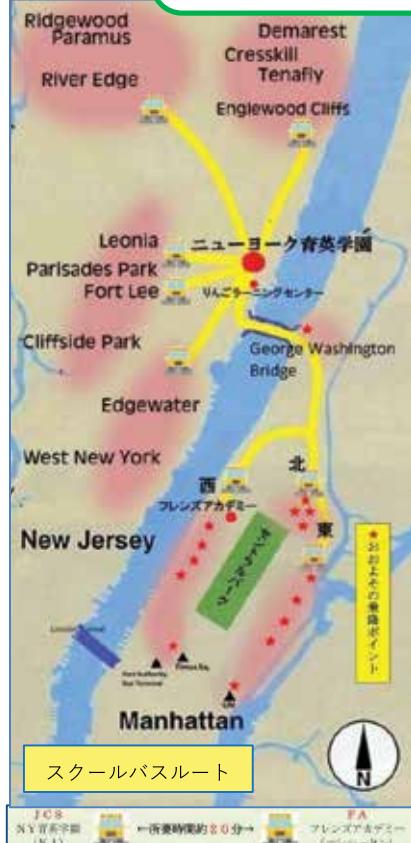
#### ■幼児部

年少組、年中組、年長組、  
ゆり組（ウェイティング特設クラス）

#### ■小学部 小学1年～小学6年

#### ■様々な放課後クラブ活動

（幼・小）サッカークラブ、水泳クラブ、  
ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ  
(幼児部のみ) ボール遊び、ベビーシッター  
(小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ、自習室



### アフタースクール E-mail: AfterNJ.nyikuei@gmail.com

#### 幼児の教室（つばめクラス）

小学生の国語・算数教室  
ESL（年少～小学6年）  
ピアノ教室 空手教室 合唱部  
書道教室 ダブルダッチ（チーム）  
幼児おんがく教室（年少～年長）

#### いろはにほんご教室

E-mail: IROHA.nyikuei@gmail.com

#### 日曜プログラム

### 育英サタデースクールニュージャージー校

E-mail: SatNJ.nyikuei@gmail.com

#### 幼児部（年中、年長）

- ・ベビーシッター
- 小学部（小学1年～小学6年）
  - ・野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、ダンス部、書道部、自習室
- 中学部（中学1年～中学3年）
  - ・中学部活動、書道部、自習室
- 高等部（高校1・2年）
  - ・国語、数学コース
  - ・社会科（現代社会・日本史）※選択制として導入

### 育英サマーキャンプ

E-mail: SummerCamp.nyikuei@gmail.com

サマーキャンプ（宿泊） サマーデイキャンプ  
サマー野球教室 サマーいろはにほんご教室

### 育英スキーキャンプ

E-mail: Ski.nyikuei@gmail.com

日帰りスキーカラーチーム（1月～2月）  
宿泊スキーキャンプ（1月、2月）

## フレンズアカデミー (アッパーイースト)

310 W.103rd Street, New York, NY 10025  
Phone: (212)935-8535 Fax: (212)813-0122

### 全日制プリスクール (NY州認可) たんぽぽ幼稚園

E-mail: PreschoolFriends.nyikuei@gmail.com

#### ■幼児部

年少組、年中組、年長組

#### 週日クラス（月曜日～金曜日）

E-mail: Friends.nyikuei@gmail.com

#### ■親子教室ひよこ組（およそ1歳～3歳未満） ■幼児教室いちご組（3歳以上～年長児）

#### アフタークラス

#### ■いろはにほんご教室

日本語基礎教室（3歳～年長児）  
国語教室（小学1年～高校2年）

#### Japanese Lesson for Adult

#### ■語学部門

英検対策講座（1次・2次）  
プライベートチュータリング（小学1年～高校生）

#### ■日本語算数教室（小学1年～6年）

#### ■書道教室（4歳～大人）

#### ■音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）（3歳～大人）

#### ■どれみふあくらぶ（3歳～年長児）

#### ■うんどうくらぶ（3歳～年長児）

## Manhattan キャンパス (マンハッタン)

## 育英サタデースクール マンハッタン校

#### 幼児部（年中、年長）

- ・ベビーシッター
- 小学部（小学1年～小学6年）
  - 漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室
- 中学部（中学1年～中学3年）
  - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、アドバンス（図鑑）、自習室
- 高等部（高校1年～高校2年）
  - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室



Location1: Friends Seminary  
Location2: Grace Church School  
Phone: (201)947-4832  
※土曜日のみ: (201)637-3927  
(201)449-4501  
Fax: (201)944-3680  
E-mail (サタデー): SatPW.nyikuei@gmail.com  
E-mail (アフター): AfterPW.nyikuei@gmail.com

その他のイベント  
季節プログラム  
春→親子スプリングスクール  
夏→親子サマー、幼児サマー、小学生サマー  
冬→幼児ウィンタースクール  
日ようびは日本語であそぼう（2歳半～年長児）  
子育て支援広場「ぱっぽ」（未就園のお子さま）  
E-mail: Kosodate.nyikuei@gmail.com

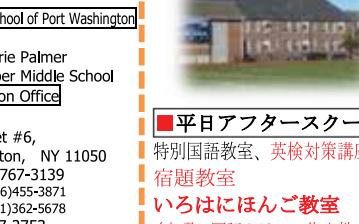
週日・週末ともに  
マンハッタン内で様々な日本語の  
プログラムが用意されています。

## 育英ポートワシントン校 (ロングアイランド)

#### 育英サタデースクール ポートワシントン校

##### 幼児部（年中、年長）

- ・ベビーシッター
- 小学部（小学1年～小学6年）
  - 漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室
- 中学部（中学1年～中学3年）
  - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、アドバンス（図鑑）、自習室
- 高等部（高校1年～高校2年）
  - 漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室



■平日アフタースクール  
特別国語教室、英検対策講座、宿題教室  
いろはにほんご教室（土曜日国語クラス、作文教室）  
E-mail (アフター): AfterPW.nyikuei@gmail.com



## 働くファミリーに最適な、早朝＆延長保育が胎まりました!!

2019年度4月より、ニューヨーク育英学園の保育部門では、働くファミリーのご要望にお応えして、通勤に便利な少し早めの早朝保育と、お迎え時間に丁度いい延長保育を始めました。

この度、実施を始めた場所は、マンハッタン・アッパーイーストにあるフレンズアカデミーの「たんぽぽ幼稚園」、そしてニューヨークのGWブリッジ側のフォートリーにあるりんごラーニングセンターの「きりんのへやこども園」です。

アッパーイーストの「たんぽぽ幼稚園」では、早朝は8時から、延長は6時までお預かりします。NY市内に在住のファミリーは、お子様をお預けになった後、そのままマンハッタン内のオフィスへ出勤できるぴったりの時間に設定されています。



また、GWブリッジ側の「きりんのへやこども園」では、早朝は7時半から延長は6時までお預かりします。NJ近郊にお住まいで、マンハッタン内にオフィスのある方や、NJの南方にオフィスがあるファミリーにとって、お子さんをお預けしたり、お迎えするのに、最適な時間となっています。

7時半から始めている、きりんのへやこども園での早朝保育では、朝食をとることからスタートします(希望制)。そして朝の身支度やトイレの時間の後、各自の自由遊びの開始です。

最近の子ども達のお気に入りは、立派に揃った12人用のディナーセットです。テーブルに所狭しと、スプーン、フォーク、ナイフを置き、お皿やカップを並べ、保育者を招待して、朝一番からディナーパーティーが盛大に開かれています。みんなで朝からディナーに興じ子ども達は本当に楽しそうです。

延長保育でも、少人数ならではの日本語の保育を行います。「絵本／紙芝居の読み聞かせ」は、1日の活動を終えた後の、ゆっくりな時間を過ごす延長保育に最適です。最近子ども達が「読んで」と持ってくるのが、月刊誌の「しじん」シリーズです。毎月、日本から7冊の月刊誌を取り寄せていますが、そのうちの一つがこれです。昨春には、

「だんごむし」の本が届きました。その本をみんなで読んだ後、外のプレイヤーにある植物のプランターを動かして、だんごむしを見つけたり、夏に届いた「きゅうり」を参考に、種まきから収穫まで子ども達と行ってみたりと、少人数ならではの延長保育ができる活動を、時間いっぱい使って行っています。

また、お迎え前の5時頃に、2回目のおやつタイムを設けています。帰宅後の夕食に差支えのないような、フルーツやクラッカーを少し食しています。

「たんぽぽ幼稚園」そして「きりんのへやこども園」では、お問い合わせや見学も常に受け付けています。特に、アットホームな日本語環境の施設や、ご出勤前のお子様の預け先をお探しのファミリーは、ぜひお越しください。



## 夏は今年も育英の「夏」

日本より一足早く始まるアメリカの夏休み。ご家族で様々な計画を立てていらっしゃることでしょう。今年の夏休み、まだ、どうしようかとお考えの方に、是非、お勧めしたいのが「育英の夏」です。Japanese Children's Society ニューヨーク育英学園として、これまで40年間に渡り、様々なニーズに応えるサマープログラムをご用意して参りました。

以下、ご案内致します。

### <NJキャンパス> サマーデイキャンプ

ニュージャージーの自然いっぱいのキャンパスの中で過ごす前期3週間、後期2週間のデイキャンプです。ニュージャージー内だけでなくマンハッタン内にもスクールバスを運行しているので、近年はマンハッタン以外のクイーンズやブルックリンなどからもご参加いただいています。日帰りのデイキャンプの中、フィールドトリップや宿泊キャンプなどもある盛りだくさん内容と、毎年飽きることのない変化のあるプログラムをご用意しています。

日本語を通して充実した夏を過ごすことができるようという思いが詰まったデイキャンプをぜひ体験下さい。



### サマーデイキャンプ オプション

デイキャンプが終わった後の午後4時から5時半までの1時間半を運動または日本語学習へ充てたいという皆様へ2つのオプションをご用意しております。

#### 1) いろはにほんご教室（小学生対象）

「国語クラス」、「日本語クラス」そして「Japanese（第2外国語として学ぶJFL/JSL）クラス」の3つがあります。それぞれの日本語能力に合わせて、無理なく楽しく進めていく、日本語のクラスです。

#### 2) 野球教室（小学生対象）

初心者から経験者まで、どなたでも大歓迎です。投げる、打つ、捕る、走るといった基本動作を大切にしながら、緑いっぱいのグラウンドで実戦練習や試合を行います。

### <Lake Greeley Camp> 2週間宿泊キャンプ

世界各国から子ども達が集まるレイクグリーリーキャンプを拠点に行う2週間の宿泊キャンプです。教員とともに男女それぞれのキャビンにて寝食を共にしながら、様々なアクティビティやNY育英学園独自のイベントを満喫できるキャンプです。



### <りんごラーニングセンター>

#### きりんのへや こども園のサマースクール

2歳半～年長児のお子様が参加できる、1日単位から選択できる組み合わせ自由なサマースクールです。小さい時期から日本語の環境に触れながら楽しい夏の思い出を作ることができます。

#### 語学部門 英語サマーデイキャンプ

英語漬けの夏にしたい、という方にぴったりの小学生を対象とした英語サマーデイキャンプです。毎日の様々なアクティビティやフィールドトリップを通して、英語の力をグンと伸ばすことができます。

#### りんごいろはにほんごデイキャンプ

現地校が始まる前に「日本語を集中して学習したい」というお子様にぴったりのプログラムです。育英サタデー・サンデースクールの第2学期前に参加できるので、第1学期の復習や第2学期の準備としても最適です。

#### <フレンズアカデミー>サマースクール

「親子クラス」、「幼児部」そして「小学部」の、3つのサマースクールがあります。マンハッタン内で自然に触れながら日本語を伸ばすことができます。また、幼児部年長と小学生は週に2回の水泳教室も大人気です。

#### <ポートワシントン校>集中国語夏期講習

小学生を対象とした「国語」に特化した講習です。6/24～8/16の期間中、1週間で1コースとして何コースでも受講できます。



## ～日本全国被災地支援 招待企画 2019～ 第7回アメリカサマー留学



ニューヨーク育英学園では、東日本大震災発生後より、被災した子ども達の為に支援活動を行なっております。震災により親を失った子ども達のための支援活動及び、ケア施設『レインボーハウス』の建設に協賛し、集まつた義援金をあしなが育英会へ、寄付しております。

また、義援金活動だけでなく、被災した子ども達と直接関わり、本学園ができる支援活動として、学園が主催する、

『育英サマーデイキャンプ』  
に、東北被災地の児童2名を2013年夏、初めて招待しました。

あしなが育英会のご協力により、子ども達は有意義な時間をアメリカで過ごし、たくさんの思い出を作ることができました。



翌年以降も継続し、2017年度は、九州地方の被災地も対象に拡げ、さらに青少年を対象として本学園サマー宿泊キャンプへボランティアスタッフとして招待いたしました。2018年度は日本全国の被災地を対象に拡げ小学生2名を招待いたしました。

2019年度も引き続き『第7回日本全国被災地支援 招待企画 アメリカサマー留学』を開催する運びとなりました。昨年同様あしなが育英会より日本での準備サポートなどのご協力を頂いております。本学園では招待する児童・青少年がそれぞれ安心して留学できる環境を整えるとともに、楽しく充実した夏を過ごせる様、しっかりとサポートして参ります。

本学園では、今回初の試みとして2019年春に本企画における招待留学生の渡航費用として8,000ドルを目標金額として4月上旬を期限としたクラウドファンディングを立ち上げました。ご家族、ご勤務先、お知り合いの方々に情報を広めて頂いた方、温かいご支援を頂いた方、誠にありがとうございました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。皆様のお気持ちが大変嬉しく励みになりました。

本企画へのご支援は、年間を通して受け付けております。招待児童・青少年の航空券をはじめ、使用目的を指定しての寄付も可能です。NY育英学園は米国非営利団体(IRS501(C)(3))として認定されており、米国での税金控除の為の証明書を発行できます。団体や企業の皆様、在籍家庭の皆様、また本企画へご賛同いただける個人の皆様からの温かいご支援ご協力を待ちしております。

お問い合わせ先：

担当：岡田 幸子

Phone：(201)947-4832(学園事務局)

E-mail: [Invitation.nyukuei@gmail.com](mailto:Invitation.nyukuei@gmail.com)

## NY育英学園主催

3年に一度開催される絵画と作文のコンクール第4回目が今年開催されます。募集要項はすでに発表されておりますのでぜひ学園HPにてご覧ください。(NY育英学園在籍の皆様には各所属部門にて配付されています。)

## ご後援団体

これまで同様の2つの団体様に加え、今回はさらに2つの団体様にご後援いただけましたことになりました。ご支援に心から感謝申し上げます。

- 在NY日本国総領事館
- 公益財団法人 海外子女教育振興財団
- 特定非営利活動法人 日本語検定委員会
- 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

## テーマ

今回は「私の誇り」です。ぜひ絵や作文で、身の回りにあるものや学校、家族、友人、経験などなど、様々なものを見つめて「これこそ自分が誇れるものだ」というものを教えてください。

## 表彰式と展示会

2019年10月末締め切り後に、絵画と作文のそれぞれの審査委員による厳正な審査が行われ、各賞が決定されます。

### 【表彰式】

2020年3月15日(日)  
於: NY日系人会ギャラリー



※その後3月27日(金)まで  
同会場にて展示会を実施します。  
(一般公開/無料)

2017年3月  
第3回表彰式より



募集期間: 2019年6月1日~10月31日

対象: 絵画部門 幼稚園児~高校生  
作文部門 小学生~高校生

テーマ: 「わたしの誇り」

主催: ニューヨーク育英学園  
~トリエンナーレ 自由の女神アート作文コンクール事務局~  
8 West Bayview Avenue,  
Englewood Cliffs, New Jersey 07632 USA

後援: 在NY日本国総領事館  
海外子女教育振興財団  
日本語検定委員会  
平山郁夫シルクロード美術館

JapaneseSchool.org

世界の様々な国から、  
700点に  
も上る絵画  
と作文が応募  
される世界的  
コンクールです。



## お問い合わせ先

トリエンナーレ自由の女神アート作文コンクール事務局

場所: 8 West Bayview Avenue,  
Englewood Cliffs, NJ 07632

電話: (201)947-4832

E-mail: [Triennale.nyikuei@gmail.com](mailto:Triennale.nyikuei@gmail.com)

担当: 牧野 佳代子



# 2018年度育英日帰りスキー・宿泊スキーキャンプ

NY育英学園アフタースクール部門では、2018年12月26日から29日に開催した宿泊スキーキャンプ、その後日帰りスキーを4回開催し、2月18日から21日までの宿泊スキーキャンプで幕を閉じました。

開催場所はポコノマウンテンのキャメルバッククリゾート。全6回で小学3年から中学3年生延べ250名の児童・生徒がゲレンデを滑降しました。

近年の暖冬の影響により雪が少ないゲレンデの状況や天候を踏まえた12月の日帰りスキー初回は止む無く中止となりましたが、その後ゲレンデは天候は暖かいものの、スキーが十分にできる程の状態となり無事に開催でき、参加した児童生徒は大満足でした。



## 初心者コース

初めてスキーに挑戦する子ども達用コースです。用具の説明やブーツの履き方、板の持ち方から丁寧に指導します。もちろん最初からリフトには乗ることができないので基本の「カニ歩き」や「起き上がり方」を反復して行い、徐々に上達していきます。キャメルバックスキーエリアの初心者エリアではリフトに乗らなくても斜面中腹まで移動できるベルトコンベアが稼働しています。リフトに乗ることのできない初心者はこちらで練習をします。その後、緩やかな斜面でアメリカでは「ピザ」と呼ばれる直滑降ボーゲンを習得しました。



## 初級コース

リフトに乗り、ゲレンデの簡単なコースを周回します。最初はリフトに乗るのが怖くて難しい子どももいますが、スタッフと一緒に乗ることで安心して乗ることができます。その後は「一人で大丈夫！」と勇敢にリフトに乗ることができていました。ボーゲンでの大回り、時には数秒片足で滑ってみたり、周りに注意しながらすぐに止まつたりと、様々な技ができるようになっていました。

このコースでは、まだまだ何度も転ぶ子も多いですが、安全に転ぶことができるようになるのも大切な技術となります。また、滑降中の視野の広さが次の中級では必要となります。

## 中級コース

上達するにつれ、スピードがついていきます。スピードがつくと危険度も上がります。中級コースを安全に滑降するためには、雪面のアイスバーンの状況や周囲に注意しながら、その時の最善の選択を瞬間にしないといけません。中級コースではシュテムター、ブルークボーゲンに加えて細かいフォームの指導が入ります。中にはパラレルに近い滑りを見てくれる子どももいました。後半の宿泊では挑戦するトレインの斜面が急になんでも転ばずに滑降ができるようになっていました。

今冬初めてスキーを始めた子どもでも数回の日帰り教室と宿泊スキーキャンプで上達し、中級まで昇級できました。



## 上級コース

中級までの指導を置き去りにせず、しっかりとボーゲンの指導やいわゆる「棒立ち滑降」にならないようにフォームの指導をします。何人かはコツを理解し、とても美しく滑れるようになりました。パラレルターンはとても奥が深く、上級に到達したとしてもまだ完全なパラレルでの大回りや小回りは難しいものです。それでも、何回も難しいトレインを周回し、それぞれが自分の滑り方を確立できるレベルまで到達していました。

## スキー講習会

昨年度から開催をしているNY育英学園独自で実施する「スキー講習会」。指導にあたったのは競技スキー出身のベテランであり、職員でもある藤田インストラクターです。スキー指導歴も長いのですが、何より教え方が素晴らしい、子ども達は食い入るように講義を聞いていました。その後のスキーでは早速教わったことを実践できていた子ども達でした。

## 豊かな講師陣

本格的なスキー指導を日本語で行うことができる講師をそろえております。60年以上のスキー経験を持つベテランや、宿泊キャンプで大好評の日本の食事を担当する職員など、子ども達の安全と楽しさを確保しながら進めることができる人材を揃えています。

## 宿泊キャンプの「目玉」

毎日3度のおいしい日本食を友人と賑やかに味わえること。これこそ目玉の一つです。食卓は毎食賑やか、子ども達は宿舎内でも新しくできた友人と楽しいひと時を過ごせ、違った意味でも満足したようです。



それぞれの級にて成長を見させてくれた子ども達、去年初めて参加したにも関わらず中級まで昇りつめ、次回には上級でも参加できそうな子どももいたほどでした。中にはスキー歴60年以上で1級ライセンスを持った上級の先生についていけるほどの滑りを見せてくれる子どももいました。

毎回のことですが、スキー終了時刻になると「あと1回いける！」、「もう1本滑りたい」、「次は上級で滑りたい」など前向きな声が聞こえました。今シーズンもすべての子ども達にとって有意義なスキー教室となっていました。

近年の傾向で、日帰りスキー参加者での初心者と初級の低学年からの参加が8割を占めています。できるだけ小さい頃から技術を修得したほうが身体が大きくなったら時に更に難しい技術を修得しやすくなります。

スキーはもちろん、毎回の日帰りスキーや毎年の宿泊スキーで出会う友達よりも子ども達の大切な活動です。宿泊スキーキャンプでは「あの子と同じ部屋になりたい」や、「あの子と一緒に滑りたい」など前向きに友達を作っている様子が伺えました。今後、スキーだけでなく私生活でも仲良くできることと期待しています。

レクリエーションではおなじみのビンゴ大会に加えてプロのダンスショータイムが行われるなど、とても大盛況でした。中にはスキー中には見せたことのない表情で盛り上がる子ども達がいました。とにかく盛りだくさんの内容でした。その成果もあったのか、今年度も1月日帰りに参加し、2月の日帰りや宿泊キャンプにも参加したいとリピーターが急増しました。子どもたちはきっと来年も「スキーがやりたい。」と言ってくれると信じています。

## 2019年度 NY育英スキーのお知らせ

- ★ 各級の申込数上限を設定し、よいきめ細かい指導に当たります。
- ★ 2019年9月下旬より日帰りスキー・宿泊スキーキャンプ参加者の募集を予定しています。レンタルサービスや送迎サービスも併せてご利用ください。
- ★ 2019年度実施予定日

日帰りスキー①	2020年1月5日
日帰りスキー②	2020年1月12日
日帰りスキー③	2020年1月26日
日帰りスキー④	2020年2月9日
スキーキャンプI	2019年12月26日~12月29日
スキーキャンプII	2020年2月17日~2月20日

★ [Ski.nyikuei@gmail.com](mailto:Ski.nyikuei@gmail.com)

お問い合わせ/NJ校アフターディレクター: 加藤 義隆

## 保育教育トピックス #4

ニューヨーク育英学園 NJ キャンパス全日制小学部では、今年度第1学期にナガサキ・ユース代表団を招いて5・6年生を対象とした平和についての特別授業を行います。

「ナガサキ・ユース代表団」とは、長崎県・市・大学が主催する核問題に関する研究者の育成プログラムで、毎年約10人ほどがメンバーに選出されます。メンバーは、核問題やそれに関する社会問題について、国内外で半年以上の講習ののち、関連する国際会議へ参加します。その1つに今年の4月にニューヨーク国連本部で行われる核不拡散条約再検討会議(Non-Proliferation of Nuclear Weapons Treaty)があります。また、各人の持つ専門知識(教育・医療・工学・芸術)と組み合わせ、自主企画プロジェクトも行います。今回学園で行われる特別授業もこのプロジェクトの1つである「平和出前講座: Peace Caravan」のメンバーが行います。Peace Caravanは発足して4年目を迎え、様々な年代や地域によって内容を組み替ながら、国内外問わず、教育活動を展開しています。

その活動の記念すべき第1回目の授業が行われたのは、実はこのニューヨーク育英学園なのです。本学園から始まったこの活動は、その後の一年で、国内は北から北海道、南は沖縄まで、のべ3000人以上の人々を対象に活動を展開し、今ではプログラムと並行して法人化が進むに至っています。

今回はその活動の始まりの地であるニューヨーク育英学園に戻ってくるとあって、以前より洗練された内容になると思います。授業の前半は様々な教材を使いながら、核兵器の過去から現在について学び、後半は、今後の未来についてのディスカッションを通して、自分の思いや考え方を引き出すことのできる内容となっています。

そもそも平和教育とは、日本では主に「戦争放棄論」や「核軍縮論」の軸で行われますが、実際の「平和」の定義は各国や地域で異なり、「貧困問題」や「人種問題」などの様々な社会問題について解決しようと考えることも、広義の平和教育に含まれます。人種差別が戦争に結びついたり、外交で核を用いて貧困問題を解決しようしたり、こうした問題は結びつけて考えられることがよくあります。上に述べた核不拡散条約の三原則の中にも、核の平和利用という発展途上国に対する原子力発電の技術支援策などが含まれ、貧困問題解決の一手段として重要な議題となっています。今回の特別授業は小学生対象なので、核以外の問題を深く絡めることはできずとも、様々な社会問題の切り口となる部分が多く含まれることになります。

先日、学園の卒業生の方が何名か学園を訪問されていた折、話を伺うと、みなさん多種多様の分野でご活躍されていました。学園の卒業生たちが社会を担う時代がすぐそこにきているのだと思話を聞きながら実感しました。国際機関が多く点在するこの街に住むという、ある種“地の利”を持った本学園の子ども達が、今回の特別授業を機に、核問題のみならず、その他の様々な社会問題について考えるきっかけになればと思います。

写真： NY 育英学園での第1回  
「平和出前講座」の様子



### 「学ぶ」とは

これまで、自分の歩んできた道をここで少し紹介したいと思う。

幼少期、病弱であったため、身体を鍛えるために幼稚園からサッカーを始めた。その面白さからサッカーの虜となり、結果として大学まで続けることとなった。大学を卒業した後、社会人1年目は東京世田谷区の社会教育指導員と並行して公立中学校の保健体育講師。2年目からは東京都の公務員として6年間教育委員会勤務。退職後、ロサンゼルスにある日本人学校、ニューヨーク育英学園、一度帰国し東京にある私立小学校、そして、またニューヨーク育英学園と波乱万丈の教員人生を歩んで来た。

早いもので学校教育に携わるようになってから20年以上が経過した。これを機会に「学ぶ」とは一体どういうことなのかについて深く考えてみた。

そこで、まず手始めに辞書で意味について調べてみると、次の様に書かれていた。

学ぶとは

- ①「教えを受けて知識や技芸を身につける」
- ②「勉強する」「学問をする」
- ③「経験を通して知識や知恵を得る」「わかる」
- ④「まねる」

この時、④の「学ぶ」＝「まねる」と言う箇所が思わず目に留まり、何だか新鮮に感じた。正直、私にとって「まねる」ことが「学ぶ」ことにつながるとは思いもよらなかった

からだ。色々と考えていくうちに、次々に疑問が生まれ、徹底的に調べてみたいという気持ちが溢れ出してきた。

もうそうなると自分を止めることができず、暇を見つけては関連する書物・記事・コラムを片っ端から読み漁っていた。そんな中、あるインターネットサイトに掲載されていた小さなコラムが目に留まった。まさにここが「学ぶ」ことの本質を突いているのではないかと思い、何度も何度も読み返した。理由は分からないが、私の中にストンと落ちた気がし心地よい気分になった。

その一文(抜粋)を是非ここで紹介したいと思う。

人は何かを学ぶには(抜粋)

- 1) お手本(人)にたくさんふれる: 頻度
- 2) お手本(人)のように(またはそれ以上に)なりたいと憧れる: 憧憬
- 3) お手本(人)をマネしてみる: 模倣
- 4) 体得するまで何度も繰り返して練習する: 手続き化(自動化)
- 5) 「能力貯金」を自由に使えるようになる: 創造性(独創性)

憧れの対象(人)の模倣を繰り返し行うことと、いつの間にか模倣ではなく、自分自身の能力を自由自在に操れる様になっていると気付く時、それは大きな喜びへと繋がっていく。

ここでは「人は模倣から学ぶ」ということが如実に述べられていると思う。また、学んだことは最終的に自分の喜びへとつながって

いくとも書かれている。

「学び=喜び」。この言葉に深く感銘を受けた。

それと同時に「子どもは大人の姿を見て育っていくのであるから、私たち大人(親)は子どものために良い手本とならなければいけない」と言うメッセージが込められているように強く感じた。

この先も教育に関わる一人の大人として「手本となれる」ように気を引き締めていかなければと、決意を新たにした次第である。



記／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

職員ペンリレー

# 2018年度ファンドレイジング一覧

(前号以降にご寄付・ご協力頂いた企業と個人の皆様)

## 奨学金基金&寄付金

企業の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC  
ISHITANI HEALTH CENTER  
A & E CLOTHING CORP.  
AMAZON.COM, INC.

## 学園グッズ&カレンダー

MR. FUKUI, DAIKI  
MS. IKEGAMI, SACHIKO  
MR. KOZUMA, MASAHIRO  
MR. TAKECHI, MIHOKO



## 奨学金基金&寄付金

個人の皆様

MS. MOCHIZUKI, MINAKO  
MR. YOSHIDA, REIZO

1/8/2019~3/26/2019



## 皆様のご支援に心より 感謝を申し上げます

全てのご寄付は米国での 税控除の対象となります。  
All contribution is tax deductible.  
501(c)(3)organization

お問い合わせ/ファンドレイジング担当  
半場 綾子

## シリーズ～先輩から一言～ 大倉 弘さん

おおくら

ひろし

### 【プロフィール】

アメリカ NJ州生まれ  
一橋大学商学部卒業  
東京海上日動火災保険に勤務



私は1983年にニュージャージー州で生まれ、5歳までパリセードパークで育ちました。その間、3歳から約3年間「よい子の学園（NY育英学園の旧称）」に通いました。また2歳違いの弟も僅か3か月間だけでしたが、兄弟でお世話になりました。当時の思い出は残念ながらうっすらとした記憶しか残っていませんが、帰国後に両親から当時の様々な話と共に写真や動画を見せてもらい、とても楽しかったのだなあ、と感じていたものでした。

NY育英学園の歴史を拝見しますと、私はニュージャージー校が開校して2年ほど経った頃に通い始めたようです。当時日本人向けの幼稚園はほとんどなく、私の在籍していた3歳児クラスの様子が、写真つきでニューヨークタイムズに掲載され、その記事はアルバムに大切に保存されています。

大学4年の時に現在の就職先が決まった後、家族でニューヨークへノスタルジックツアを行ったのですが、その際に17年振りにNY育英学園も訪問させていただきました。私の通っていた当時はリッジフィールドの校舎でしたが、初めてのイングルウッドクリフスの校舎で、岡本園長先生や私の担任であった中畑（小山）仁美先生に歓迎していただきました。園長先生はこと細かな思い出話まで語って下さり、改めて先生方の子ども達に対する愛情の深さを教えて頂いた次第です。仁美先生は、その3年後に亡くなられたお知らせを頂きとても残念ですが、お元気な時に再会できて貴重な機会となりました。

中学、高校時代には英語で苦労し、当時はアメリカでもっと英語を勉強させてもらっていたらと思う時もありましたが、両親の方針で母国語の基礎をしっかり学ぶために「よいこの学園」に通うことになりました。自分も親となり、母国語を大切にしたかった当時の両親の思いもよくわかるようになりましたが、現在のNY育英学園のカリキュラムやイベントの様子を拝見していますと、少々羨ましい気持ちになります。

現在、仕事では保険の商品開発を担っておりますが、ビジネス上のグローバル化が更に進んでおり、海外の保険会社と連携しながら仕事をする機会も増えております。英語は勿論のこと、海外の多様性へ子ども時代に触れる事は大変貴重な機会だと思います。後輩にも当たる園児の皆様には、是非様々な経験をして、健やかに育って欲しいと心から願うばかりです。

今後も、NY育英学園の益々の発展を祈念しております。



BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)